

新福岡県立美術館 基本設計について

新福岡県立美術館について、基本設計が完了したため概要を報告するもの。

1 基本設計の概要

(1) 敷地

計画敷地：福岡市中央区大濠1丁目（現在の福岡武道館及び日本庭園の敷地）

敷地面積：20,666㎡

(2) 建物

構造：鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造
免震構造の採用により十分な耐震性能を確保

規模：地下1階、地上4階

延べ面積：約20,900㎡（地下を除く地上部は約15,000㎡）

環境配慮：太陽光パネル設置、施設の省エネ化（ZEB oriented 以上）

(3) 設計方針

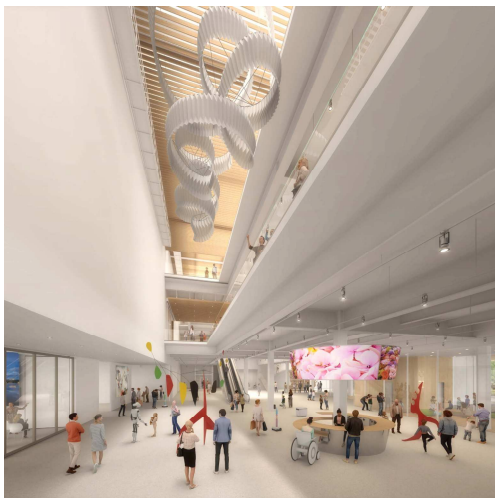
「新福岡県立美術館基本計画」に掲げる目指す姿とコンセプト「芸術の可能性を拡げ、挑戦する美術館」、「九州・福岡県の文化芸術の発展に貢献する美術館」、「県民が親しみ、誇りを育む美術館」、「公園と一体となった美術館」を具体化するとともに、ワンハルスを推進し、健康で健全な環境を次世代へつなぐ美術館を目指す。

①外観イメージ（北面）



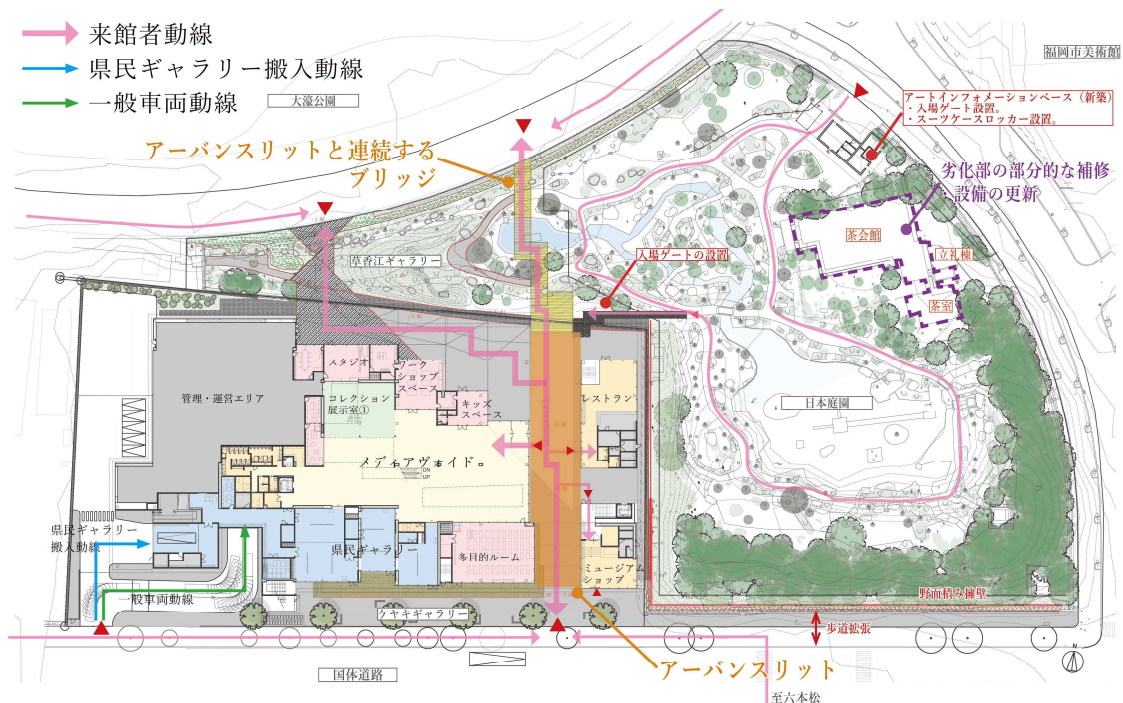
- ・日射を遮り環境性能の向上に寄与する深い軒庇＝グリーンイーブス
- ・大濠公園の周回園路との境にある築地塀を取り除き、公園と敷地を緩やかにつなげる
- ・建物の高さは、最も高いところで現在の武道館と同程度とし、公園や日本庭園に向かって段々と低くすることで景観に配慮

②内観イメージ（メディアヴォイド）



- ・建物の中心にあり各諸室とつながるメディアヴォイド
- ・天井トップライトには柔らかく太陽光をとり入れ暖かな印象を与える木質の遮光ルーバーを設置
- ・アート作品を天井から吊るす、壁面に作品をかける等により展示室や多目的スペース等と関連づけた催事も可能

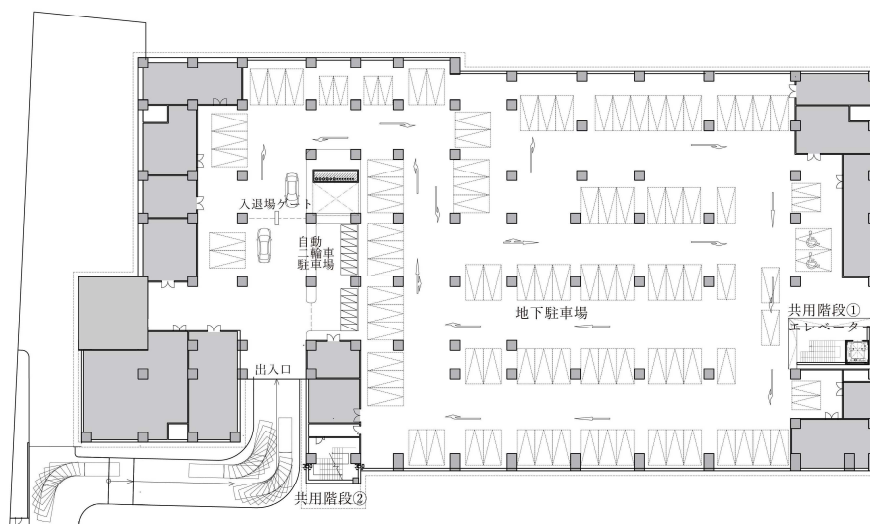
③配置計画



- ・美術館建物は現在の武道館敷地に配置し、日本庭園を最大限に保全し活用
- ・雁行させた建物形状とし自然に恵まれた敷地周辺環境に馴染ませる
- ・国体道路から大濠公園へ敷地を通り抜け可能なアーバンスリットを計画

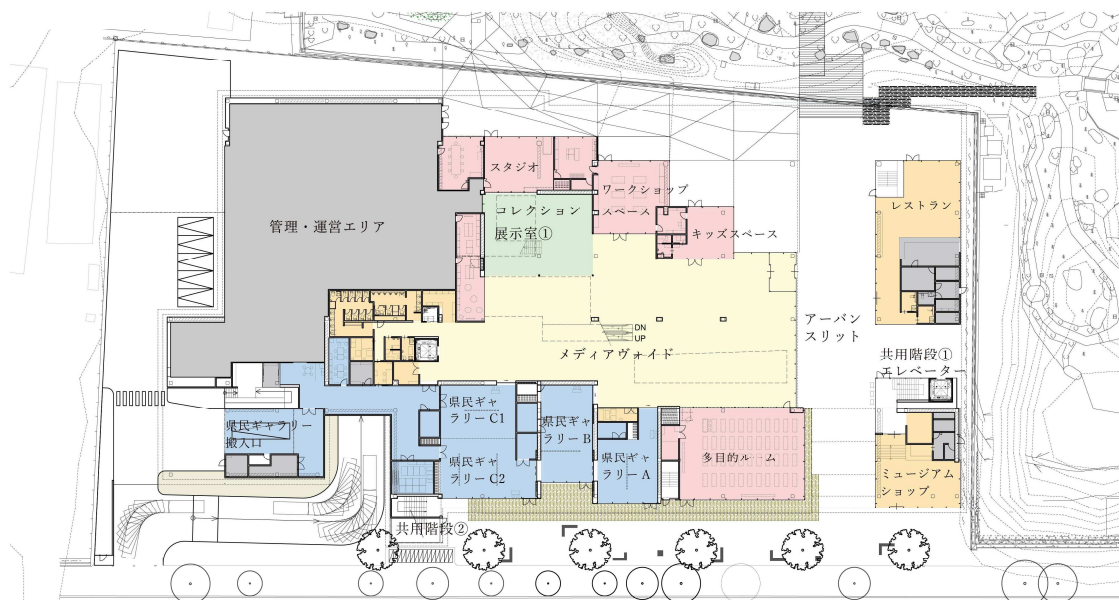
④平面計画

[地下1階]



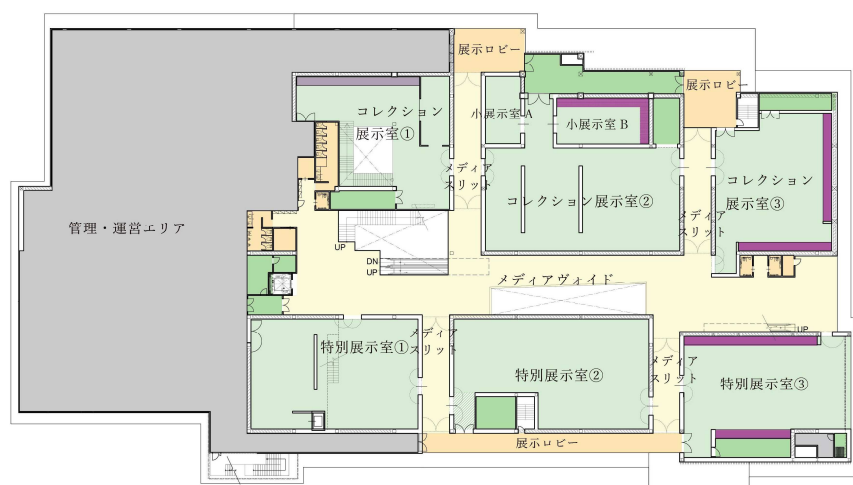
- ・ 駐車場、設備機械室等を配置
- ・ 利用者用の駐車台数は自動車96台、自動二輪車13台

[1階]



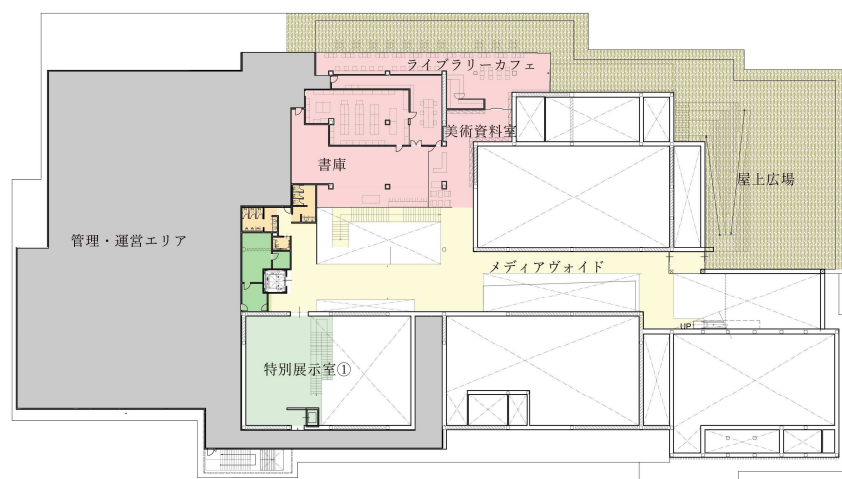
- ・ 多目的ルーム、キッズスペース、ワークショップスペース、スタジオ、県民ギャラリー、レストラン、ミュージアムショップ等を配置
- ・ 県民ギャラリーは計4室あり、国体道路に面し地域にひらかれた展示室
- ・ レストラン、ミュージアムショップは美術館営業時間外も営業可能

[2階]



- ・コレクション展示室①※¹～③、特別展示室①※²～③、収蔵庫等を配置
- ※¹ コレクション展示室①は1階及び2階にまたがって配置
- ※² 特別展示室①は2階及び3階にまたがって配置
- ・2階以上は高潮による洪水時にも浸水しない床レベル
- ・展示室の天井高さは最大で10Mあり大型の立体作品を展示可能
- ・大濠公園側と国体道路側にそれぞれ展示ロビーを配置
- ・展示室間のメディアスリットは状況に応じた利用が可能

[3階]



- ・美術資料室、ライブラリーカフェ、屋上広場等を配置
- ・ライブラリーカフェは大濠公園に面しており眺望の良いくつろげる空間
- ・屋上広場はメディアヴォイド及びライブラリーカフェから出入り可能

[4階] 機械室、屋外機置場等を配置、機械室上部には太陽光パネル設置

2 今後のスケジュール

今年度は実施設計を進め、令和8年度から令和10年度にかけて工事を実施。令和11年度中の開館を目指す。

整備スケジュール	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
設計	実施設計	法手続き (大臣認定)	入札事務 (WTO)			
建設		契約・準備	工事			枯らし期間 (コンクリート打設後ふた夏)
開館					開館準備	★

3 その他

新潟県立美術館整備の進捗状況については、機運醸成の観点から県のホームページや特設サイト「新潟県立美術館が大濠公園にできるまで」において情報発信することとしている。基本設計の概要についても県ホームページ等で広く周知を図る。